

# 消防団で活躍する人たちの紹介



## 焼津市消防団第8分団

### ●主な活動内容

月に1回、団員全員が集まって、放水訓練や消防車内の機械操作方法の確認を行っています。また事故処理の時に、使用する器具の取り扱い訓練も行います。

冬場の火災が多い時期には、夜間広報活動としてポンプ車に乗り、火災予防の啓発活動もしています。応急手当普及員の資格を持っている団員は、普及員として、一般の方や小学生などにAEDの使用方を教える講座も行っています。

### グエン・ティ・フォンさん

2019年入団（応急手当普及員）



### 鈴木 久瑠美さん

2020年入団



### 【焼津市消防団組織概要図】



焼津市消防団について  
くわしくはこちら！



グエンさん  
鈴木さん

中村さん



## 女性消防隊・ドローン隊

### なかむら ちおり 中村 知織さん

2017年入団（応急手当普及員・ドローンパイロット）



### ●女性消防隊について

主な活動はみなさんが想像するような消火活動はなく、広報活動や広報誌の発行、地域への救命講習などです。

また志太消防と協力し、一人暮らしの高齢者宅の消火器や住宅用火災警報器などの点検や、幼稚園・保育園の花火教室に行くこともあります。女性隊員も同行することで安心していただけるよう工夫しています。隊員は子育て中や仕事をしている方、お孫さんがいらっしゃる方もいます。

参加できる方が無理せず活動しているので、興味のある方は気軽に入ってもらいたいです。

### ●ドローン隊「SKYSHOOT（スカイシュート）」について

現在16人中4人が女性で、全員がドローン操縦資格を持っています。最初は男性だけでしたが、女性の視野も必要だということ、災害時の様々なことに対応するため、女性も入ることになり、2020年に全国初の女性消防団員のドローンパイロットが誕生しました。



操縦や補助など活動には最低4人必要で、月1回全体で集まり、会議や訓練を行い連携の確認を行っています。要請があった時に火災現場や土砂崩れ、行方不明者捜索などに動きます。出動は隊員の生活スタイルに応じて調整しています。



### ●楽しみながら人のためになる活動を

私は結婚前に応急手当普及員の経験があり、元々消防団に興味がありました。入団を心配する夫と話し合い、娘の小学校入学を機に入団しました。

最初は育児で参加できないことが多かったですが、ドローンの操縦や応急手当も常に技術を磨かなければなりません。それでも続けていけるのは、色々な世代との交流や勉強が楽しく、私の息抜きになっているからです。

また、以前お年寄りの方が倒れているのを見かけた際、迅速に応急手当ができ、経験が身についていると感じました。



みんなで手作りし、イベントで配っています

### ●焼津市消防団

#### 団長 岩本 操さんから

女性は基本的に自分から志願して入団します。女性団員が増えたことによって全体の雰囲気が変わり、団員の意識もよりよい方向に変わりました。

皆、新たな任務への挑戦意欲を持って入団した団員で、男女の隔てなく協力し合う組織の強い団結力があります。女性団員も男性団員と同じように熱意が高く、お互いに切磋琢磨していると感じています。

みなさんにはそれぞれの経験を生かして長く在籍して活躍して頂きたいです。

### ●ベトナムから日本に来て知った「防災」

ベトナムでは地震や津波がほとんどないので、あまり防災に対する意識はありませんが、小学校の時に警察や治安隊の方たちが来て、台風や火事の時にはどうしたら良いか、教えてくれる授業がありました。初めて静岡へ来た時、地震や津波の話聞いて不安を感じましたが、同じ職場の方から消防団への入団を勧められ、入団しました。わからないこともたくさんありますが、何より自分の命や家族の命を助けるための方法を学ぶことが出来るので、貴重な経験が出来ていると思います。

### ●仕事と家庭、そして消防団

子どもが小さいので、保育園から呼び出しがかかることもありますが、仕事の面ではテレワークも利用して、職場の方たちに支えられながら動いています。また消防団としての活動は月に1~2回ですが、夫に協力をしてもらい、活動が出来ています。

入団当初は日本での友達もいなかったのですが、消防団のコミュニティに入れたことは私にとって良かったです。訓練時に消防車に乗ってパトロールをしながら、焼津市のことを団員からたくさん教えていただきました。



### ●これから入団したいと 思っている方たちに一言！

消防団員は災害時の活動だけでなく、普段は火災予防や応急手当の普及・啓発など、さまざまな活動を行っています。わからないことも団員のみなさんが優しく丁寧に教えてくれます。ここでの出会いとコミュニティをこれからも大切にしたいです。普段ではなかなかできない貴重な体験ができるので、気軽に参加してみてください。

### ●地域に貢献できることがうれしい！

分団長に声をかけてもらったことが入団のきっかけでした。それまでは消防団のこともよく知りませんでしたが、同僚も何人か入籍して、全く知らない人たちの中に入るわけでもなく地域貢献もできるのならとやってみることにしました。

家族には入団の相談をしませんでした。男性ばかりの中で大丈夫なのか、また体調の心配はされていますが、それ以上に地域の方たちに消防団のことを知ってもらえたり、労いの言葉をかけられると頑張ろうという気力が湧いてきます。

### ●今しかできない経験ができて日々成長を感じる

消防団に入団していなかったらきっと知ることができなかったことがたくさんあったと思います。団員のみなさんも優しい方たちばかりで、活動を続けるモチベーションにつながっています。みなさんとかかわりの中で専門的な知識や経験を身に付けることができ、とても勉強になります。

まわりの方たちの支えもあり日々成長している自分を感じることができています。



### ●焼津市消防団第8分団 分団長 柳田 暁さんから

女性団員の入団にあたり、訓練の方法や役割分担、教育方針を、分団内で検討することによって、訓練全体の質が上がり、活動中の雰囲気も引き締まった気がします。

以前の分団小屋内の資器材の配置場所は、目線より上に重量物があり無造作でしたが、女性団員の提案から使用頻度を考慮した誰にでも取りやすい配置になり作業効率の向上が図られました。

今後期待していることは、指揮・指導のできる分団幹部になってほしいということです。性別にとらわれずにやりたいことを見つけ、団員としてのスキルを高めていってほしいです。



## 教えて！カエルくん

管理栄養士 風間幸代さん監修

### 乾パンDE黒糖きなこかりんとう

【材料】	
乾パン	20個
黒砂糖（粉末）	60g
きなこ	大さじ2
アーモンド（好みで）	10粒
水	大さじ4

- 【作り方】①アーモンドは、包丁で刻んでおく。  
②フライパンに黒砂糖と水を入れて弱火で溶かし、沸騰したら、①ときなこを加える。  
③乾パンを加えて、さいばしなどで弱火のまま混ぜ続ける。  
④粉がふいたようになってきたら火を止める。皿に移して冷ましたらできあがり！

栄養価（5個当たり）	
エネルギー	149kcal
たんぱく質	4.0g
脂質	3.3g
炭水化物	27.3g
塩分	0.2g



防災用品で備蓄している乾パンが余っていませんか？フライパンにいれて混ぜるだけで、簡単においしいおやつに生まれ変わります！冷ますとさくさくおいしくなりますよ。ミネラル分が豊富な黒糖に、タンパク質や食物繊維、カルシウムもとれるきなこをまぶし、良質な脂質やビタミンEがとれるアーモンドも絡めて香ばしく仕上げました。こどもからお年寄りまで楽しめます。



風間さんのHPはこちら！



## 編集後記

- 消防団の活動を楽しんでいる姿が素敵だと感じました。ドローンの話もたくさん聞けて勉強になりました。㊦
- 女性消防団員の方たちの姿は生き生きとして、とても頼もしく感じました。訓練をしている姿もぜひ拝見してみたいです！㊦
- 紙面で紹介されているように、女性の方たちが地域のために活躍されている姿を間近で見ることができて、なんだか元気をもらえました。㊦

## 読者の声

Aしおかげ前号（64号）へ読者からご意見・ご感想が寄せられました。皆様の感想をお待ちしております。65号への感想はこちら！→



もやもやエピソードを読み、改めて自分もこのように感じていたことがあったと気づくものがたくさんありました。以前は当たり前だと思い、気にもとめなかったことが時代の流れとともに、一度立ち止まって考える必要があることが多いなとも感じました。互いに自分の言動に気をつけていくことが大切ですね。 (50代)

自分自身のものごととのとらえや、もの見方で発言をしてしまっていることがあり、この記事を読んで、いろいろなことへの気づきになり、たいへん参考となりました。 (50代)

アンコンシャス・バイアスは残念ながら誰もがもっている意識の一つだと思います。それをゼロにすることは難しいと正直感じます。ただ、本記事などで広めていくことで、意識を高めるだけでも社会全体が変わってくると感じました。長期的な取り組みになるかと思いますが、継続していくことは必要だと思います。 (40代)